

- 後期試験までやり切ろう!
- 共通テスト同日体験結果
- キャリアガイダンス

違いはあれども。

英語科 中川 絵美

ところ変われば国や住んでいる地域によって、料理、言葉、生活習慣など、様々な違いがあります。学校生活にも違いはあります。今回は、福岡県で過ごした私の高校生活についてお話したいと思います。

入学後、授業、部活、学校行事等、何をやるにしてもとことんやる姿勢に驚きました。朝の授業は1限からではなく、1限の前に朝課外というものが50分あります。高校によって始まる時間はバラバラですが、ほとんどの学校で行われています。使う教材は正規の授業で使うものとは違うものを使って勉強します。その分、予習や小テストも増えます。冬のマラソン大会前には、課外の前に寒稽古がある日もありました。定期考査では、課外の内容も試験に含まれ、赤点はどの科目も39点以下と決まりがあり、各科目の上位10名、総合得点の100位までは生徒の名前が貼り出されて、常に緊張感が走っていました。1学期が終わって、やっと夏休みが来ると喜んだのも束の間、全員、お盆時期の数日間以外は、午前中課外授業、午後は9月開催の体育祭練習、その後、部活と「通常時と何にも変わらない!」とぼやいたことを思い出します。体育祭は楽しみにしていたのですが... 福岡の県立高校は、受検できる高校が住んでいる地域によって決まっていて、高校選択は偏差値で決めるしかありませんでした。また、学校説明会もなかったし、ホームページもなかった時代だったので、体育祭がどのようなのか知らず、ただ単に楽しいものと想像していました。私の通った高校は1学年11クラスあり、その大人数を4つの色に分けます。進級して学年やクラスが変わっても、1学年のクラスで決まった色のままです。1番のメインは応援合戦で、黒の長袖、白軍手を身に付け、黒の長ズボンを履き、超古風な歌に合わせて、色付きのパネルを動かし、文字や絵を表現します。上げるパネルの色を間違えると、応援団に「謝れ~!」と言われ、立って「〇年〇組〇番 氏名、すみませんでした~。」と大声で謝らなければならないし、歌の指導では大声で歌ったと判断された人だけ応援団に着席の許可がもらえるし、競技で負けると、自分の団の応援席の前で謝るなど過酷でした。また、部活も大変で、休みのはずの曜日に1年全員が休んで、次の日、顧問の先生に、「体育館のステージを早く来て場所取って、そこで筋トレができるだろう!」と怒られ、「高校って休みの日がない、大変!」と常に思う日々でした。でも、習慣付くというのは素晴らしいもので、学業も部活も学校行事も忙しい中でも、一生懸命取り組み、精神的にも体力的にも鍛えられた高校3年間になりました。

比べてみたら様々です。韓国や中国の方に自分の高校生活の話をした時に、1日に14時間以上授業があったから少ないと言われたこともあります。WBCの時に、大谷翔平選手が「憧れるのはやめましょう。憧れたら超えられない。」と名言を残しました。確かに、周りを見て比べたらきりが無いほど上には上がいます。皆さんもそれは周りの人と比べてそう思ったことがあるのでは? では、自分のいる環境で自分を高めるにはどうすればいいか、それは自分の目標と意志をしっかりと持ち、今やっていることを意義あるものにしようと精一杯やるしかないと実感しています。新宿高校生にとって次のステップとなると、きっと大学受検でしょう。高校生活は学校別だけでなく、個々でも様々ですが、高校生活の中で育んできたことが反映するこの先の進路実現は、共通の目標だと思います。高校生活での学びを個々の進路に活かして、夢を叶えることにつなげられる学校生活を送ってほしいと願っています。

## ○後期試験までやり切ろう!

3年生は、私立大学の一般入試はほぼ終わり、合格発表の結果が出た人もいることでしょう。一方、国公立大学の前期試験も終了しました。また、3月6日からは後期試験が始まります。昨年度は後期試験で15名の合格者が出ています。これまでの受験勉強の成果を全力で出し切って、最後の最後までやり切ってください。

※赤本の返却と寄付をお願いします!

赤本を借りている人は、忘れずに返却してください。

後輩のために、赤本の寄付もお願いします。進路室前の段ボール箱に入れてください。

## ○共通テスト同日体験結果

1・2年生は、1月17日(水)に実施した共通テスト同日体験の結果が返却されました。以下の表は学年毎の成績です。特に、2年生で難関の国公立大学や私立大学を第一志望とする人は、「志望大学別平均得点率」を超えるように、結果を分析して現状を把握(自身の弱点を確認)し、今後の受験勉強に活かしましょう。

### 共通テスト同日体験結果

英語	分野	配点	得点	得点率	志望大学別平均得点率			得点	得点率
			2年生		東大/京大	旧帝大+3	難関私大	1年生	
第1問	プリント・ウェブサイトの読み取り	10	7.5	75.2%	81.0%	72.9%	70.7%	7.3	72.7%
第2問	ウェブサイト・レポート文の読み取り	20	13.9	69.3%	80.1%	69.2%	65.3%	12.2	61.0%
第3問	ニュースレター・ブログ記事の読み取り	15	10.4	69.0%	78.4%	66.0%	60.5%	9.0	59.9%
第4問	複数の記事の読み取り	16	10.1	63.1%	76.1%	61.4%	54.8%	7.9	49.6%
第5問	随筆分の読み取り	15	6.1	40.5%	53.9%	36.1%	33.0%	4.2	28.0%
第6問	説明的文章の読み取り(新課程対応・東進オリジナル問題)	24	7.7	32.0%	43.3%	30.6%	27.3%	6.7	28.0%
筆記計		100	55.6	55.6%	66.5%	53.6%	49.5%	47.3	47.3%
リスニング		100	70.5	70.5%	75.0%	66.7%	64.6%	67.0	67.0%

国語	分野	配点	得点	得点率	志望大学別平均得点率			得点	得点率
			2年生		東大/京大	旧帝大+3	難関私大	1年生	
第1問	評論	45	29.0	64.4%	67.2%	60.2%	58.0%	27.0	60.0%
第2問	小説	45	33.8	75.2%	73.6%	68.5%	67.5%	30.8	68.5%
第3問	実用的文章(新課程対応・東進オリジナル問題)	20	13.6	67.9%	74.7%	68.2%	63.9%	13.9	69.3%
第4問	古文	45	23.6	52.4%	58.5%	48.2%	45.1%	19.3	42.9%
第5問	漢文	45	28.5	63.4%	66.9%	55.6%	47.5%	21.6	48.1%
計		200	128.4	64.2%	67.4%	59.2%	55.8%	112.6	56.3%

数ⅠA	分野	配点	得点	得点率	志望大学別平均得点率			得点	得点率
			2年生		東大/京大	旧帝大+3	難関私大	1年生	
第1問	数と式、図形と計量	30	15.5	51.7%	73.4%	58.3%	48.8%	12.5	41.8%
第2問	2次関数、データの分析	30	17.5	58.5%	68.6%	59.8%	53.9%	17.3	57.6%
第3問	場合の数と確率	20	10.3	51.6%	71.9%	57.9%	49.7%	10.0	49.9%
第4問	図形の性質	20	5.8	29.0%	49.7%	33.2%	25.0%	5.5	27.3%
計		100	49.2	49.2%	66.9%	53.6%	45.7%	45.3	45.3%

数ⅡBC	分野	配点	得点	得点率	志望大学別平均得点率		
			2年生		東大/京大	旧帝大+3	難関私大
第1問	三角関数、指数関数・対数関数	30	18.1	60.2%	76.9%	64.3%	55.8%
第2問	微分・積分	22	7.7	35.2%	52.5%	42.6%	35.9%
第3問	確率分布と統計的な推測	16	4.1	25.3%	27.9%	22.6%	19.4%
第4問	数列	16	9.7	60.7%	60.1%	49.1%	42.2%
第5問	ベクトル	16	5.6	35.0%	48.0%	36.1%	28.3%
第6問	平面上の曲線と複素数平面(新課程対応・東進オリジナル問題)	16	2.3	14.2%	34.7%	20.9%	14.6%
計		100	44.8	44.8%	66.2%	53.0%	44.4%

※「東大・京大」は東京・京都を第一志望とする受験生の得点率

※「旧帝大+3」は北海道・東北・名古屋・大阪・九州・一橋・東工・神戸を第一志望とする受験生の得点率

※「難関私大」は早稲田・慶応・上智・東京理科・国際基督教を第一志望とする受験生の得点率

## ○キャリアガイダンス

2月7日（水）の6・7限に、1年生対象のキャリアガイダンスを実施しました。その目的は、社会においてそれぞれの立場で活躍されている先輩方の貴重な体験談を伺い、生徒ひとりひとりが自分の将来の夢や進学へのイメージをより確かなものとし、これからのあり方について考えていくきっかけとするもので、例年実施している行事です。今年度も同窓会の全面的なご協力を得て、様々な分野で活躍されている諸先輩方13名をお招きし、様々な演題でお話をさせていただきました。このような機会に後輩のために積極的に協力くださる「繋がり」も、新宿高校の強みです。78回生が、将来は講師として後輩達と向き合うことを期待しています。

当日は6限と7限にそれぞれ異なった講座を受講しました。各会場では、熱心にメモを取ったり、積極的に質問をしたりする姿が見られました。今後の自分の進路に思いを馳せることに止まらず、今の自分の生活が将来へと繋がっていくのだということを実感する機会となってくれば嬉しいです。

今年度の講師を務めてくださった先輩方と演題をご紹介します。

- 津川 清一 先生（21回生）「国際会議でのお作法」
- 酒井 邦彦 先生（24回生）「法律家としてマルチに生きる～より良い社会を創るために～」
- 佐野 良雄 先生（24回生）「グローバルに生きる、グローバルで仕事をする」
- 篠原 厚子 先生（25回生）「薬剤師を目指した理由、研究職に進路変更したのは面白かったから」
- 中越 一統 先生（31回生）「公認会計士の業務と魅力」
- 細矢 剛 先生（34回生）「多様性は宝」
- 関根 聡 先生（35回生）「AI研究者という職業」
- 地引 達弘 先生（35回生）「摩擦を科学するー「トライボロジー」の世界への誘い」
- 神余 崇子 先生（43回生）「大学の勉強と職業としての大学教員」
- 原田 将史 先生（48回生）「寝ても覚めても建築」
- 須田 健太郎先生（48回生）「広告のひみつ」
- 庄司 匡宏 先生（50回生）「世界の貧困と闘う仕事」
- 楠 木綿太 先生（60回生）「教育公務員→技術系会社員への転身」

### 先輩からの言葉

#### それぞれの、一回しかない人生

15回生 青柳 正規  
元文化庁長官

紀元前19万年頃アフリカで我々の祖先が出現してから現在まで、この地球上には約1170億人の人間が誕生したそうです。現時点の総人口80億人強を含むかなり信憑性の高い数字だといわれています。勝手な想像でしかありませんが、膨大な数に登るこれらの人々の人生はそれぞれ全て違っていただけないのでしょうか。大きな事故で何十人もの犠牲者が出る場合、犠牲者の最期は同じでも事故以前の人生はそれぞれに違っていただけないはずで、私は今年の秋になると八〇歳を迎え、時折自分の人生というか過去を振り返るときがあります。別に大きな成功をしたわけでもありませんが、食べることに困るようなこともなかった平々凡々とした人生のように思えます。そんな人生ですが、ただ一つ他の人と少し違う特徴があるとすれば、やりたいことをやってきた、好きなことに夢

中になって人生を送ってきたような気がします。そのことを少しお話ししましょう。

皆さんもそうでしょうが、高校生のころは現実的なことと同時に、現実とは一線を画した自分なりの思索に耽ることがよくあります。そのことをもう少し深めてみたいと思い出したのが高二になった頃で、できたら大学は文学部で哲学を勉強したいと漠然と考えるようになりました。しかし、高校での生活の大部分は山岳部と硬式野球部の部活に費やして、哲学書を読むようなことはほとんどありませんでした。

文学部に入学し哲学や思想史の授業を受けてみるとあまりに難しいのでとてもついていけないことがわかり美学を考えましたが、哲学と同じように難解なので美術史を専攻することにしました。大学三年生の夏休みまではイタリア・ルネサンス時代のピエロ・デッラ・フランチェスカという画家を卒業論文にしようと考えました。この画家の属していた時代を後にルネサンス時代と呼ぶようになったのは、古代のギリシャ・ローマの文化が「再生」したからで、このため再生を意味する「ルネサンス」という言葉を用いるようになりました。画家の勉強を始める前に一応ギリシャ・ローマの勉強もしようと考え三年生の秋頃から取り掛かりました。やってみると、古代という時代の文化や社会がとても面白く、また、自分の好みにも合っているような気がしたので、古代ローマのポンペイ壁画で卒業論文を書くことに決めました。

ポンペイ壁画の勉強を進めるにはイタリア語とラテン語が日常です。この頃、当時私がいた大学でラテン語の授業はありましたがイタリア語の授業はありませんでした。そこでイタリア語に興味のある何人かの学生とサークルを作り、東京外国語大学の先生にお願いして勉強会を定期的に開いてもらいました。

卒業論文を書いたものの、日本で古代ローマ美術を教えてくれる先生はいないので、なるべく早く留学しようと二四歳のときローマ大学に入学しました。入ってみて驚いたのは難しいラテン語の本を寝転がって読む学生がいたり、ホメロスのギリシャ語叙事詩を丸暗記している学生がいて、大きなショックを受けたことを今でもよく覚えています。

三年間の留学を終えてどうにか帰国してからは母校の助手になり、資金も経験もないのにポンペイでごく小規模な発掘調査を始めました。夏休みを挟む4ヶ月ほどを四年間ポンペイで過ごしました。日中はポンペイ遺跡の中で図面とりや写真撮影などの作業に従事し、夕方からは宿舎の庭や安いレストランで同じようにポンペイ研究に携わる各国の考古学者と雑談しながらの食事を摂りました。イタリアだけでなくフランス、ドイツ、オランダ、イギリス、アメリカなどの考古学者との親密な交わりは、その後の研究生生活に大きな糧となりました。

ポンペイを皮切りに、シチリアのアグリジェント郊外にあるレアルモンテ、イタリア中部の都市タルクィニアから20キロほどにあるカツァネッロ、そして現在はナポリの東20キロにあるソンマ・ヴェスヴィアーナで発掘調査を続けて、あっという間に五〇年近い歳月が流れてしまいました。

こんな人生でするので何の参考にもならないと思いますが、やりたいと思うことをやっていると本当に時間を忘れてしまい、そのときそのときが充実しています。ですから経済的に恵まれなくとも食べることに困るようなことはありませんので、研究者という職業も捨てたものでないと考えていただければ大変ありがたいです。

(同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。)

#### ※今後の予定（進路関係）

- 3月1日（金）～ 国公立大学前期試験の合格発表（国立大学は6日～）
- 8日（金） 実力テスト（1年生は学びみらいPASS、2年生は全統共通テスト高2模試）
- 11日（月） 実力テスト（1年生は学びみらいPASS、2年生は全統共通テスト高2模試）
- 12日（火）～ 国公立大学後期試験
- 19日（火） 合格速報会（1年生は3限、2年生は1・2限）